

林業普及現地情報
2014-14号(通算239号)
平成26年12月15日
林業技術センター 普及班
記述者 照井重光

小田島昭夫氏林野庁長官賞を受賞 ～第53回全国林業経営推奨行事～

1 はじめに

今年度の全国林業経営推奨行事において、二戸市浄法寺町の小田島昭夫氏が、昨年度の農林水産大臣賞を受賞した小笠原耕男氏に続き、林野庁長官賞(全国で16名、東北で2名)を受賞され、去る11月20日、東京都内において賞状伝達贈呈式が行われました。

2 全国林業経営推奨行事

同行事は、森林所有者(法人を含む)の森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に勤め、森林の有する多面的機能発揮及び持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するため、昭和37年度から毎年開かれているものです。

3 全国林業経営推奨行事賞状伝達式

式典は、本年10月に就任された大日本山林会 総裁秋篠宮文仁親王殿下の御台臨を仰ぎ、多数のご来賓のもとに開催されました。

大日本山林会 箕輪会長式辞、秋篠宮文仁親王殿下のおことばのあと、農林水産大臣賞受賞(8名)、林野庁長官賞受賞(16名)、大日本山林会 会長賞(9名)の代表の方に賞状が贈呈されました。



4 小田島氏の林業経営

(1) 経営目標

- ① 計画的な間伐による優良大径材生産
- ② 有用広葉樹の育成管理(ウルシ等)
- ③ 高密路網整備による低コスト化

(2) 経営概要

人工林については、適期に間伐を実施して、優良大径材生産を目標に管理を行っています。特にウルシ等の育成にも力を入れ植栽地約2.5haにおいては、重要文化財の修理修復に必要な浄法寺漆の安定供給を目指しています。

また、継続的・計画的な主伐や保育作業を実施し、地元の森林組合と相談しながら委託作業で施業を実施し、収益性の確保に向けた経営に取り組んでいます。

さらに、低コスト作業を進めるため、作業道路網の高密化(74m/ha)により間伐の伐採、搬出作業の効率化にも努めています。

5 おわりに

林業を取り巻く環境が厳しい中で、林野庁長官賞を受賞されたことは、本人はもとより地域の林業関係者にとっても大きな励みとなっています。ここ数年、二戸指導区からの受賞者が輩出されていますが、県内各地のすばらしい林業経営者を推薦していくこととしています。

